

For Your Dreams

陽東中学校 学習だより 第5号



9月下旬とはいえ、まだまだ暑い日が続いています。それでいて朝晩は少しずつ涼しくなり、秋の気配を感じる頃となりました。また、今年は突然の大雨や雷があり、皆さん大変な思いをしていると思います。夏休みが終わって約3週間。期末テストが終わり、明日から地区の新人大会が行われます。3年生は明日、実力テストです。昼休みの校舎には、合唱コンクールの練習をする歌声が響いています。学校行事は、クラスの団結力を高め、充実感や達成感を知る機会となります。特に3年生の一つ一つの行事にける意気込みや姿勢は毎年素晴らしく、先輩たちから受け継がれたよき伝統ともいえるでしょう。芸術の秋・スポーツの秋・合唱コンクールや文化祭、体育祭にクラス一丸となって頑張る皆さんを応援しています！

★期末テストの見直しをしよう！～自主学習力を身につけよう～

9月4日（水）1学期期末テストが行われました。成績個人票も返却されて一喜一憂していることと思います。テストは、自分の弱点を知る最良の機会です。できなかった問題をチェックして、もう一度きちんと復習するようにしましょう。また、せっかくテスト勉強で学習の習慣がついたところで、その習慣を継続してみましょう。そしてその学習で大切なことは「自己学習力」です。

「自己学習力」とは・・・わからない問題でもできるだけ自分で調べて解決する力です。「勉強を教えてください」だけでは力が身に付きません。では、どうやって「自主学習力」を身に付けられるのでしょうか。

（１）分からない問題は似たような問題を探す。

わからない問題があったら、教科書・ノート・参考書などで似たような問題がないか探してみましょう。自宅での学習はテストではないので、どんなに時間がかかっても大丈夫！できないからと言って投げ出さず、教科書等で調べる習慣をつけましょう。

問題集の分からないところを飛ばしてばかりでは学習しているとは言えません。一つでも多く解答を埋められるように、調べるのが大切です。

（２）解答を写してみる。

数学・理科などは、やり方が分からないところは写してみるのもいいでしょう。この段階では「真似するだけ」で完全に理解しなくてもOKです。その段階でどこまで理解できて、どこから分からなくなっているのか、確認して印をつけていくと分からない部分がはっきりします。

解答を見ても分からないところは、先生や友達に聞いて、少しでも理解が進む努力をしましょう。

記述問題は、模範解答を写して文字にしてみましょう。書いてみて言葉の意味が分からないところを調べるとよいでしょう。

（３）繰り返し覚えられるように工夫する。

テストで覚えなければならないことは工夫してみましょう。例えば、大切なところは赤ペンで書いて、チェックシートで隠しながら覚える等、ノートをとるときに工夫したり、暗記ノートやカードを作ったり、自分に合った方法を見つけましょう。

★1学期を振り返る～終業式は10月11日（金）～

1学期終業式が10月11日（金）に行われます。早いもので、今年度も半分が過ぎたことになります。1学期を通して、よくできたことや今後努力をしていかなければならないことなどをまとめて、「通知表」に記しますので、これまでの学習や生活をよく振り返りましょう。この「通知表」は、学校が教科の成績や日常生活の記録などをまとめ、皆さんや保護者の方へ通知するための書類です。特に、「学習の記録」では次のように記しています。

●「評価」について

観点別評価は、それぞれの教科の学習の中で、どの点が優れ、どの点に課題があるのか、個々の生徒の学習状況を分析するもので、達成状況をA、B、Cの3段階で表してあります。

- A・・・十分に満足できると判断される状況
- B・・・おおむね満足できると判断される状況
- C・・・努力を要すると判断される状況

●「評定」について

評定は、すべての教科の中で、どの教科に優れ、どの教科に課題があるのか、観点別評価を総括するもので、5段階で表してあります。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 5・・・十分に満足でき特にその程度が高い | 4・・・十分に満足できる |
| 3・・・おおむね満足できる | 2・・・もう少し努力をしてほしい |
| 1・・・大いに努力をしてほしい | |

良い評価や評定は嬉しいもので、自分がやってきたことへの自信になります。そして、これからの学習のやる気にもつながります。しかし、あまり良い結果でなかった時には、がっかりしたり、落ち込んだりしてしまいがちですが、その原因を考え、2学期に改善していけるようにしていくことが大切です。何を努力すればよいのかなどは、各教科の観点別に達成状況を表している「評価」から見ることで参考になります。教科担任の先生に聞くのも一つの方法です。

学校では、単にテストの結果だけで「知識」を評価するものではありません。その教科の学習に対する「主体的に学習に取り組む態度」といった学ぶ意欲や授業中に出される課題に対する「考える力・判断する力・表現する力」、学習内容を定着させるための宿題への取組などから総合的に判断して、「評価」や「評定」をつけています。『授業中、話をよく聞き、進んで活動したり、考えたりしていたか』『期限を守って、ワークブック、プリント、ノート、作品等を提出できたか』『家庭学習などを通して、粘り強く問題に取り組むことができたか』なども大切です。自分の1学期の学習状況を振り返ってみましょう。

～保護者の皆様へ～

終業式を目前に控え、お子様の1学期の学習の様子はいかがでしたでしょうか。1年生は小学校と比べて大変なことが多すぎる、毎日の生活についていくのが精一杯なんて声も聞こえてきそうな気がします。2年生は学校生活にも慣れて、反抗期真っ盛り。親の助言なんて聞く耳もたなくて……。3年生は受験を真剣に考える時期。思うように学習が進まなくてイライラ……。だからあの時言ったのに……。親子喧嘩が聞こえてきそうな気がします。けれども、そんな状況はどのご家庭でもあることです。「通知表」の結果だけで判断せず、今までの過程を冷静にお子様と振り返ってみてください。ご自身の経験談なども含めてお話しすることもおすすめです。そして、叱ったり、怒ったりするよりも褒める機会、励ましの機会に通知表を活用してほしいと思います。